

## 東京教区少年連盟

### 被災した子ども

### 夏の集いに招待

東京教区少年連盟（藤江義昭委員長）は、子ども24人を含む30人



東日本大震災で被災した子どもたちを招待し、8月3日から5日まで「夏の子ども会」を開催。福島や宮城の子ども24人を含む30人が参加(写真)をはじめ、スイカ割りやクラフト作り、浅草散策など盛りだくさんの内容。おつとめを練習し、お朝事に参拝するなど築地別院での夏のひとときを満喫した。

福島県田村市の宗像彩乃さん（小1）は「盆踊りが楽しかった。築地本願寺が大きくてビックリ」、鈴木直樹君（小4）は「友達と一緒に参加できたのが良かった」と元気に話した。引率した東北教区少年連盟の徳力祐弘委員長は「子どもたちは放射能のことも忘れて伸び伸び遊び遊んでいた。とても有り難い3日間だった」と話している。